

第2回新賃金交渉を開催！

イースト春闘交渉 ②

失われた20年を取り戻すため、労使間における協議が主体となり
あるべき目指す方向へともに進んでいくこと！
先を捉えながら、自信を持って進んで行くことが求められている！

本日(3月12日)、本部は15春闘第2回交渉を開催し、会社からは国内外の経済動向と第3四半期決算及び、経営に関わる各関係事案の動向・推移等について説明があった。中長期的な動向を注視しながら判断をせざるを得ないことへの理解を求めるとしつつも、当方の主張する、賃上げは社員のモチベーションの維持と、生産性向上に向けるための手段とする考え方に対しては一定の理解を示した。

今次春闘では、社会的にも求められている「経済の好循環」に向けるための「賃上げ」等によって、消費マインドの持ち直し改善をはからなければ、会社の言う中長期スパンでのリスク要因の打開にはならない。組合員の期待も大きい。実質賃金の低下が続く中で、お客さまの獲得、切符を買っていただくためには、企業がなさなければならないこととはなにか。春闘における判断の大きな素材として検討することを強く訴えた。

利益の正当な配分は、生産性向上の原則の一つであることと、ワーク・ライフ・バランス社会の構築のために、そして働くことへの付加価値を高めるためにも、それを反映させることが、労使協議における15春闘の目的であり大きな意義であることを訴えた。

※詳細については別途「交渉速報」を発信します

総合生活改善闘争「2015イースト春闘」に総決起しよう！